

第10回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

○日 時：平成19年7月27日（金）15時00分～16時35分

○場 所：岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室

○出席者：22/34

○欠席者：岡山大学（梶原），岡山学院大学（平林），
川崎医科大学（辻岡・若狭），吉備国際大学（村本），
倉敷芸術科学大学（石田），山陽学園大学（松井），
ノートルダム清心女子大学（加藤・鈴木），美作大学（片山），
岡山経済同友会（原・運営委員1名空席）

○陪席者：山陽新聞社（加藤事業局部長），（社）岡山県文化連盟（曾田専務理事），
岡山県教育庁（千葉総括副参事），岡山理科大学（田辺参事）

○議 事：

議事に先立ち，（社）岡山県文化連盟から机上配布資料に基づき，「おかや
ま文化ボランティアコーディネーター」受講生募集についての説明があった。

木村委員長（岡山理科大学副学長）から開会挨拶後，前回議事要旨（案）
の確認が行われ，原案どおり承認された。

○審議事項

1 事業部及び事務局体制について

委員長から，岡山理科大学内で検討を重ねた結果，以下の条件で平成20
年度から岡山理科大学が会長校を引き受ける予定で話を進めている旨発言が
あり，異議なく了承された。

- ・現在の岡大と同じ体制で担うことは難しいため，新しいコンソーシアム
の事務局及び事業部体制を整理してお引き受けすることになる。
- ・具体的には専従職員を配置することができないので，派遣職員又はパー
ト職員を配置し，理科大職員が通常業務のかたわら担うことになる。
- ・派遣職員も単なる派遣職員ではなく，なるべくコンソーシアムの事業に
ついて継続的に担っていける方を選び，育成する方針が望ましい。
- ・企画会議や運営委員会の開催頻度も見直し，回数を減らしたい。
- ・事業部の担う事業は事務局に委任するのではなく，事業部担当大学であ
る程度担ってもらう必要がある。
- ・次回代表者会議で次期会長候補が内定すれば，企画会議や運営委員会に
おいて，次期運営委員長の互選や次年度へ向けての事業等，重要事項の
検討が可能になる。

2 短大等の参画について

委員長から，【資料1】に基づき「特別会員」としての短大等に付与する権
利義務及び事業への参画方法等について，以下のとおり提案があり，異議な
く了承された。

- ・短大等が特別会員として参加可能な事業を，社会人教育事業部の「吉備
創生カレッジ」への講師派遣や産学官連携事業部の学生参加型事業（ま
なびピア岡山2007やロゴマーク募集など）への参加等に絞って短大
等に案内することを次回代表者会議に諮る。

- ・上記事業への参加は短大等側の判断に委ねることとし、義務とはしない。
- ・代表者会議承認後、各短大等に案内を送付し、参加希望短大等に特別会員として入会いただく。
- ・単位互換への参加については短大等側のニーズの問題や協定締結、授業料の問題があるため、入会した短大等の要望を聞いた上で慎重に議論していく。仮に単位互換に短大等が参加することになった場合、4年制大学側で学則の変更を必要とする大学もあるため、全大学の参加を条件とせず、現在の大学間の単位互換事業とは別の事業とすることもあり得る。

3 新規会員の入会について

委員長の指名により、事務局から以下のとおり説明があり、了承された。

- ・以前お伝えしたとおり、4月に開学した環太平洋大学から正会員としての入会を希望する連絡があったが、入会申込書はまだ受理していない。
- ・会費額の案を含めた補正予算案及び単位互換協定書案は審議事項の5及び6でご説明する。

4 平成18年度収支決算書について

委員長の指名により、事務局から【資料2】に基づき以下のとおり説明があり、異議なく了承された。

- ・監事による監査は終了した。
- ・収入の部では当初大学の会費のみを見込んでいたが、資料のとおり正会員会費（その他）や創設準備会からの繰越額が上乘せされた。支出の部では事務局経費等を節約した結果、経費が大幅に減少した。収支の差額を平成19年度に繰り越した形となっている。

5 平成19年度補正予算（案）について

委員長の指名により、事務局から【資料3】に基づき以下のとおり説明があり、異議なく了承された。

- ・環太平洋大学の入会を想定し、会費案として資料のとおり追加計上した。
- ・審議事項4で説明したとおり、平成18年度からの繰越額を確定額に補正した。
- ・収入の部の増額に対応し、支出の部の「予備費」を増額した。
- ・支出の部の「大学教育事業部」の欄に記載のある入試説明会については今年度は中止することが了承されているが、別の企画を実施する可能性が残っているため、今回の補正予算案では予算をそのまま計上している。

6 単位互換協定書（案）及び覚書（案）について

委員長の指名により、事務局から【資料4】に基づき以下のとおり説明があり、異議なく了承された。

- ・今回の案は環太平洋大学の9月正式入会及び10月からの単位互換協定参加を想定したものである。
- ・年度途中の新規入会に対応するため、協定書の変更点は発効日、旧協定の失効の2点であり、覚書の変更点は前文、発効日及び更新時の扱い、旧覚書の失効の3点である。

- ・今回の案は各大学単位互換の実務担当者に事前に送付し、実務的な観点からの意見を求めており、特に意見はなかった。

○報告事項

1 各事業部報告

委員長の指名により、各事業部リーダー等から以下のとおり報告があった。

<大学教育事業部>

- ・平成19年度後期単位互換履修状況については【資料5-1】のとおり。
- ・【資料5-2】のとおりeラーニングに関する見学会を企画した。追って事務局から開催通知をお送りするので、参加者をお知らせ願いたい。

関連して委員長から、単位互換に関して次の2点の提案があり、異議なく了承された。

- (1) キャリア形成講座については、追加募集を行いたい。
- (2) これは岡山理科大学からの要望であるが、岡山理科大学と岡山大学の研究交流の一環として、岡山理科大学の学生を岡山大学に派遣して実習を実施する計画がある。このような事例は稀で、まだ制度化もされていない。

各大学には特例的な取扱いをお願いしご迷惑をおかけするが、学生の身分を明確にするため、現行の単位互換制度により、岡山大学からの大学提供科目(後期)に当該科目を1科目追加し、キャリア形成講座の追加募集に併せて15大学へ向けて公募をさせていただきたい。シラバス等は追って事務局からお送りする。

<社会人教育事業部>

- ・平成19年度前期の吉備創生カレッジ予約状況、予約者の内訳及び後期の科目一覧表は【資料5-3】のとおり。お忙しい中、ご協力いただき感謝申し上げます。

<産学官連携事業部>

- ・前期キャリア形成講座については、水曜講座と木曜講座で学生の満足度に差が出ている。後期へ向けて課題としたい。また後期は追加募集を実施する予定であるのでご協力願いたい。
- ・「まなびピア岡山2007」について、「キャリア形成講座」修了生を中心とした「生涯学習見本市」及び「体験テント」への出展を計画しており、現在学生と打ち合わせを重ねている。夏休み中に具体的な内容を詰め、後日お示しする予定。
- ・「秘書検定2級取得講座」について、民間業者から民業圧迫とのクレームがついたため、「社会人のためのマナー講座」として内容及びネーミングを変更する予定である。キャリア形成講座修了生からの要望もあり、対象を4年の女子学生に限定する予定である。後日詳細をお示しする。
- ・本事業部の平成19年度計画事業の一つとしてあげているが、【資料5-4】のとおり、「大学コンソーシアム岡山」ロゴマークの募集を行いたい。広く一般の方にもコンソーシアムを知ってもらえるようなロゴマークを作成したい。応募資格は県内4年制大学の学生としているが、審議事項2の短大等の参画が早まれば対象を拡大する可能性もある。
- ・予算は今年度の事務局経費(広報費)の中に入れて計上済である。総額

は30万円の予定で内訳は【資料5-4】のとおり。本事業部で応募チラシを作成するので、PRにご協力いただきたい。また、追って各大学には選考委員（教員・学生）の選定やロゴマークの編集・改訂に従事いただく教員の推薦を依頼するので、ご協力願いたい。

○その他

岡山県から、「まなびピア岡山2007」について説明があった。

※次回開催予定は9月末か10月初旬の予定（追って正式な日時を通知）

以 上